

緩和ケア研修会開催します！

がん診療に携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアについて正しく理解し、緩和ケアに関する知識や技術、態度を修得することを目的に、がん診療連携拠点病院等が開催しています。

研修を修了された方には、厚生労働省健康局長及び研修会主催者の連名による修了証書を交付いたします。また、医師による研修会の修了は、以下の診療報酬項目の算定要件の一つになります。

緩和ケア診療加算（一般病棟入院基本料等）	外来緩和ケア管理料
有床診療所緩和ケア診療加算（有床診療所入院基本料等）	在宅緩和ケア充実診療所・病院加算（往診料等）
緩和ケア病棟入院料	在宅療養実績加算2（往診料等）
がん性疼痛緩和指導管理料	在宅悪性腫瘍患者共同指導管理料
がん患者指導加算料	

今年度も院内外のがんに携わる医療従事者の方の参加を募り、対面での研修会を開催する運びとなりました。

- 日 時** 2025年6月21日（土） 9:00～18:00頃（開場8:30）
- 場 所** 場所 松戸市立総合医療センター 2階大会議室
- 研修対象者** すべてのがん診療に携わる医師、歯科医師及び看護師、薬剤師等のがんに関係する医療従事者
- 受講方法** 「集合研修」を受講する前に、事前に「e-learning」を受講することが必須となります。
【e-learning 受講サイト】 <https://peace.study.jp/rpv/>
※医師で大学在籍中に医師番号登録なく受講されている場合は、再登録・再受講が必要です。研修会当日はスマートフォン・タブレット端末、e-learning 受講時に用いた ID・パスワードをご準備ください。
- 定 員** 定員 40名（定員を超える場合は千葉県の医師を優先とさせていただきます）
- 参 加 費** 無料 ※昼食については各自持参をお願いします
- 申込方法** 参加申込用紙に「e-learning 修了証書」を添えて、6月2日(月)17時までに Fax で下記へお申し込みください。受講決定者には2週間前までに受講決定通知書を郵送いたします。※定員になり次第募集を締め切りますので、お早めにお申し込みください。

問合せ先

松戸市立総合医療センター がん診療対策室

TEL：047-712-2511 FAX：047-712-2573

※音声案内「6番」を押し、オペレーターにお申し付けください。



〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀993番地の1
TEL 047-712-2511（代表）

地域連携室

TEL 047-712-0551（直通）
FAX 047-712-2573



2025年5月
第216号

松戸市立総合医療センター 地域連携室広報誌

医療連携 News

特集 | 4月就任医師紹介

Contents

医師からのご挨拶

緩和ケアセミナー

ご挨拶

このたび、院長を拝命致しました岡部真一郎と申します。当院へは2010年に赴任し、以後消化器内科医として地域の諸先生方とともに診療に当たっております。

当院は東葛北部の基幹病院の一つとして、地域災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、地域周産期母子医療センター、救命救急センターなど様々な役割を持っております。これからは、これまでの経験を活かし、より一層患者さんに安心と信頼をお届けできる病院作りに努めてまいります。当院は、すべての人に「来てよかった」と思われる病院を目指しますという基本理念のもと、今後も地域医療に貢献していく所存です。

どうぞ今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

院長 岡部 真一郎



就任のご挨拶

4月より就任した医師をご紹介します

診療局長



竹内 男 医師

この度診療局長を拝命しました竹内 男と申します。岡部前診療局長が病院長へ就任し、後任として小医が引き継がせていただくこととなりました。昨年度私は副院長・医療技術局長・外科部長を兼任しておりましたが、医療技術局長と外科部長の職は退きました。外科医としての診療は継続するので、外科系統括担当という役職を新たに仰せつかりました。

昨今の医療における専門性志向により、複数の疾患を抱える高齢者が時として適切な治療を受けられない事象がどこの総合病院でも起こり得ますが、特定の疾患に限定せず、患者さんの社会的背景も考慮した全人的医療が提供できるよう、当院で診療に従事する医師の代表として取り組んで参りたいと存じます。

また、近隣の医療機関の先生方に信頼していただき市民病院としての存在価値が見いだされるよう、院内の診療体制を整備し、訪問などを通じて顔がわかる関係を築くなど、院内外で活動して参りたいと存じます。今後ともご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

全人的医療が提供できるよう
当院の医師代表として、取り組んで参りたい。

副診療局長



森 雅人 医師

平素より大変お世話になっております。

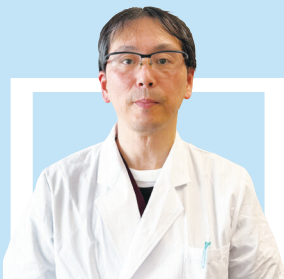
この度、副診療局長、診療事務室長を拝命いたしました、小児医療センター小児科・小児集中治療科の森雅人と申します。

皆様のおかげで当院は令和7年5月から千葉県より「小児救命救急センター」に指定されました。当院の小児医療に果たす役割は大きくなっており、引き続き皆様のご協力をお願いする次第です。

この度、命を受けた診療局および診療事務室では多くの方が所属し、他部署との連携が重要な部署であると考えております。ますますのご指導、ご支援をお願いできればと思います。微力ではありますが、当院の医療および運営に貢献できるよう尽力していきたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

当院の小児医療に果たす大任
を担い、医療及び運営に貢献
できるよう尽力して参りたい。

外科部長



三浦 世樹 医師

このたび、外科部長を拝命いたしました三浦世樹と申します。千葉大学卒業後、肝胆膵外科・上部消化管外科を中心に研鑽を積み、腹腔鏡手術にも積極的に取り組んでまいりました。これまでの経験を活かし、外科診療の向上に努めます。外科医療は日々進歩し、低侵襲で精度の高い治療が求められています。当科では2年前より大腸・胃のロボット手術を導入し、安全で高度な医療を追求してきました。術後の回復を支えるため、リハビリや栄養サポートチームとも連携しています。

これまでも地域の先生方と協力して診療にあたってまいりましたが、今後さらに連携を深め、患者さんの回復を第一に、スタッフ一丸となって、最善の医療を提供できるよう努めてまいります。引き続きご指導・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

小児科部長



鈴木 一広 医師

4月より小児科・小児集中治療科部長の任を拝した鈴木一広です。私は、1992年に千葉大学医学部を卒業し、小児科に入局しました。その後、千葉大学附属病院、都立墨東病院、千葉市立海浜病院、千葉県こども病院、帝京大学市原病院(現千葉医療センター)等を経て、2003年4月より当院小児科に配属されました。専門は小児科循環器(先天性心疾患、川崎病、心筋症、不整脈など)で、小児科専門医、小児循環器専門医資格を有しています。

当院は、東葛地区並びに周辺地域の小児循環器専門施設であり、学校心臓健診精密検査や心臓カテーテル検査、小児心臓血管外科と共に先天性心疾患の手術対応など行っています。森小児医療センター長や岡田小児科・小児集中治療科部長共々、東葛地域の小児医療に貢献すべく、全力で頑張る所存です。どうか宜しく願います。

消化器内科部長



森居 真史 医師

平素より格別なご支援を賜り誠にありがとうございます。今般、消化器内科部長を拝命しました、森居真史です。私は松戸市立総合医療センター(旧松戸市立病院)に2010年4月に着任し、以来15年余の月日が過ぎました。これまで消化器内科医として、そして内視鏡センター長として努めて参りましたが、これからはいっそう皆様との連携を大切にし、患者様一人ひとりに寄り添った最善の医療を提供できるよう尽力していきたいと考えております。また科の長としてスタッフの育成にも注力し、技術や質の向上を目指すとともに研究活動にも力を入れて、新しい知見の発見に貢献できればと考えております。

これからは皆様のご支援とご理解を賜りながら精進して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

小児外科部長



武之内 史子 医師

この度小児外科部長を拝命しました武之内史子と申します。私は2000年代に計3年間、旧松戸市立病院時代に勤務していたことがあります。十数年ぶりにまた勤務させていただくことになり、身が引き締まる思いです。

私はこれまで千葉大学医学部附属病院、君津中央病院、東京女子医科大学八千代医療センターなど千葉県内の中核病院で小児外科の研鑽を積んで参りました。小児外科は単径ヘルニアなどの日常疾患から、人生で一度しか出会わないような希少疾患まで、新生児から中学生までの胸部・腹部・体表の様々な外科疾患を扱います。小児科・新生児科をはじめ関係各科と協力してこどもたちの命と未来を守るために貢献できるよう努力するとともに、指導医として後進の育成にも力を注いで参りたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます

整形外科部長



宮下 智大 医師

この度整形外科部長を拝命しました宮下智大と申します。当院を含む千葉大学関連病院で研修後、2008年より再び当院で勤務しております。頸椎から腰椎まで脊椎脊髄疾患を専門としており、2011年に脊椎脊髄センターが開設されてから脊椎脊髄センター長として診療にあたっております。これからは整形外科全体の運営に取り組んでいきたいと思います。

当科は千葉県東葛地区の基幹病院および3次救急病院の整形外科として、四肢・体幹の骨・関節・靱帯などの運動器変性疾患と骨折や脱臼などの外傷に対する診療を11名の常勤医師で行っております。整形外科の各領域の専門医が、最新の治療を取り入れ治療成績の向上に努めております。地域の医療機関の先生方との連携を深め、診療に邁進していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

救急科部長



八木 雅幸 医師

この度救急科部長を拝命しました八木雅幸と申します。私は東京医科歯科大学を卒業した後に、同大学の初期研修プログラムを経て、外科専門医を取得、救命救急センターで診療、研究、災害支援等に従事してきました。

救急医の仕事は幅広く、施設により様々ですが、当院では主に、重症患者の初期診療から集中治療管理までを行っております。特に、ショックや呼吸不全を伴い、一刻を争うような外傷や重症感染症等に対する、外科的処置(緊急手術や血管内治療等)を含めた治療に力を入れております。また、ECMOを使用した管理ができる体制を整えており、他の手段では管理が難しい循環不全や呼吸不全においても救命をめざしています。院内の診療科にもご協力いただき、地域の最後の砦となれるよう努力してまいります。今後とも何卒よろしくお願いいたします。